

2012 Formula Nippon Rd.4
FUJI SPEED WAY
14 JULY 2012

観客数:9,500 人 天候:曇後雨

予選



PETRONAS TEAM TOM'S の中嶋一貴が富士スピードウェイで行われた全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第4戦において、シリーズ自己初のポールポジションを獲得した。アンドレ・ロッターは 8 番手グリッドからのスタートとなった。

- 中嶋は Q1、Q2 共に二番手タイムをマーク。ウェットコンディションとなった Q3 でスリックタイヤを装着してポールポジションを獲得した。
- ロッターは、Q1 でチームメイトの中嶋に先行してトップタイムをマークしたが、Q2 でタイヤに違和感があり、Q3 への進出はならなかった。
- Q3 が始まった時に降り出した雨に対し、チームは好判断で中嶋を開始と同時にコースインさせた。
- ロッターは予選 9 番手となったが、他車のペナルティーによって 8 番手スタートとなった。

Drivers	Car No.	Q1	Q2	Q3
Andre Lotterer	1	P1 1:25.811	P9 1:26.417	
Kazuki Nakajima	2	P2 1:25.901	P2 1:25.976	P1 1:36.694

Weather	Overcast-Rain/Damp-Dry-Wet	
Temperatures	Air: 24-25 C	Track: 27-28 C

アンドレ・ロッター (Driver for car No. 1)

“Q2 ではマシンが凄く変だった。Q1 から Q2 にかけて何もマシンをいじってはいないのに、Q1 とは全く違った。感覚的に満タンの倍くらい燃料を積んだみたいで、特に第 3 セクターで全くグリップせず、ブレーキングの状態はとても悪かった。何がおかしかったのか、原因を見付けたい。本当にかっかりした予選だけれど、富士で 8 番手スタートというのはそれほど悪くはない。ポイントゲットはもちろん、表彰台も可能だ。明日の決勝ではできる限りポジションを上げる”

中嶋 一貴 (Driver for car No. 2)

“自分にとってフォーミュラ・ニッポン参戦初のポールポジションを獲得できて最高の気分だ。練習走行からうまく行く感覚はあった。最終セッションで我々は直ぐにコースインする判断をした。ウェットコンディションをスリックタイヤで走るのはとても難しかったけれど、雨が強かった最終セクターでコースオフしないように注意して走行した。ポールポジションからスタートする景色は最高だろう。そして良いスタートを切ってリードする自信はある ”

東条 力 (Engineer for car No. 1)

“ロッターは Q1 で最速だったのでセットを変更せずに Q2 に臨んだ。しかし、彼は Q1 よりも 0.6 秒遅かった。これは大きな問題だが特にメカニカルな問題は見つからなかった。何が問題だったのかを究明して、決勝で良いレースができるよう明日へ臨む。ロッターはスタートポジションをひとつ上げられたし、彼はいつもスタートがうまい。ポジションを上げて表彰台をゲットして欲しい”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“中嶋は頑張って初のポールをゲットした。春のテストから富士では調子良かった。Q3 でハーフウェットのコースヘスリックでコースインしてもらった。最初にコースインした中嶋は滑りやすいコンディションをミスなく素晴らしい走りをしてくれた。決勝では良いスタートで二勝目をマークして欲しい”

舘 信秀 (Team Director)

“複雑な気持ちだ。中嶋が初のポールポジションを獲得したことはシリーズ全体にとって良いことだ。しかし、ロッターの状況は不思議だ。Q1 で最速だったドライバーが Q3 に進出できなかった。問題解決に力を注ぎ、明日は両ドライバーが表彰台を分け合って欲しい”